



文楽委員会 高津小の誇り

提案内容

1. 子ども文楽学習について
2. 文楽委員会について
3. 子ども文楽学習の実際
4. 子どもたちにとって



大阪市立高津小学校
PTA前会長 吉田 宏興

子ども文楽学習について

1. 平成13年度大阪市学校活性化事業により開始
2. 高津小で始めることができたわけ(地域性)
 - ふれあい学習を重視 → 黒門市場お店体験、高津宮見学、豊寿会(老人会)からの学び
 - 地域・保護者の文楽学習開始への願い
 - 植村文楽軒が人形浄瑠璃の小屋を開いた地
 - 国立文楽劇場は高津小学校の跡地

子ども文楽学習について

3. 6年「総合的な学習の時間」に実施

月	主な内容（学習活動など）
4	・入学式での歓迎の言葉（人形の操作） ・三業(太夫・三味線・人形遣い)の基本練習 ・役割分担、三業に分かれての活動
5	・三業に分かれての活動
6	・三業に分かれての活動 ・文楽鑑賞会、文楽劇場の見学（舞台裏）
7	・三業に分かれての活動
8	・三業に分かれての活動
9	・三業に分かれての活動
10	・三業に分かれての活動（衣装の着付け練習）
11	・三業揃っての活動（衣装の着付け練習）、リハーサル ・学習発表会
12	・文楽伝達式（6年生が1年間学んだことを、5年生に伝える）
1	・文楽納め式（1年間お世話になった技芸員の先生に感謝とお礼のあいさつをする） ・初顔合わせ（5年生と技芸員の先生との対面。文楽学習を始めるあいさつをする）
2	・三業基本指導・練習(6年から5年へ)
3	・三業基本指導・練習(6年から5年へ) ※ 次年度の演目の決定

練習の様子(太夫)



練習の様子(三味線)



鶴澤清尙 先生



鶴澤清公 先生

練習の様子 (人形遣い)



桐竹勘十郎 先生



2019/05/20 桐竹勘次郎 先生

練習の様子(笛)

藤舎次生 先生



子ども文楽学習について



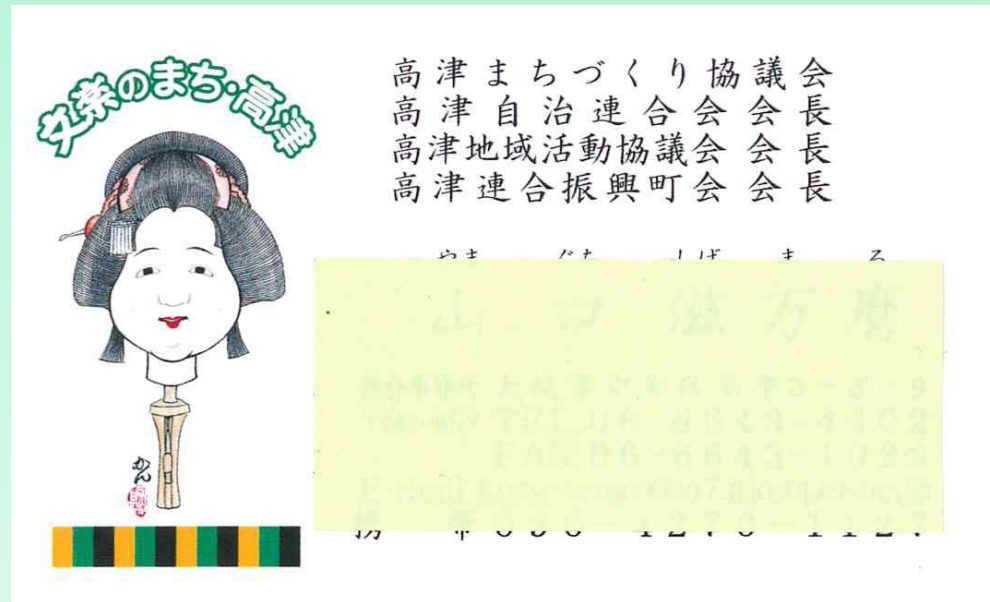
平成13年度 太夫
(高津小卒業生)



豊竹咲寿太夫

地域・PTAの支援

- 子ども文楽委員会(地域・PTA)による支援
高津地区まちづくり推進協議会は、名刺に「文楽のまち・高津」と記載、文楽人形の面が印刷



文楽委員会(P T A)

○ 夏季休業中のお世話

文楽劇場での公演日に稽古してくださることが多く、謝意を表して茶菓のお接待。

(子どもたちの練習を参観できるのが楽しみ。)

文楽委員会(P T A)

○ 着付け

発表会衣装の着付けのお手伝い。

そのために、発表会当日までに
数回着付けの練習。

(当日は、張り切っている我が
子と、より近づいた気持ちになる
ことができる。)



文楽委員会(P T A)

○ 衣装管理

陰干し・クリーニング。

初期の頃の保護者が手作りで作成。

子どもたちにとっての文楽学習

桐竹勘十郎 先生 談

「プロになるわけじゃないので技術面は重視していません。それよりも習ったことを一人一人が出し合って、一つのものを作り上げることが大事。それも段取りじゃなく、空気を感じ取って気持ちでつながる。あうんの呼吸が必要なときが、これからの人生でたくさんあると思いますから。」

子どもたちにとっての文楽学習

竹本織大夫 先生 談

「高津小学校の子ども文楽は平成25年・26年で数段高まった。27年は完璧に近づいた。前向きな子どもたちがすばらしい。高津小学校の誇りある取り組みとして、どこにも自慢できる取り組みである。」

子どもたちにとっての文楽学習

校長先生 談

最上級生である6年生で、明確な目標を持って全員で一つの舞台を作り上げる、その過程でのそれぞれの努力が大きな力となる。また、やり遂げたことが、達成感や自己有用感につながる。

何より、極めているプロ（本物）から、人としての生き方や心を学ぶことができる。

子どもたちにとっての文楽学習

「伝達式」「6年生から5年生への指導」を通して、「子ども文楽」は確かに引き継がれていく。

報道映像



ご清聴

ありがとうございました。

